



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 明美

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部副本部長兼管理部長 (氏名) 石原 秀樹

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	47,922	5.3	809		810		531	
2019年3月期第2四半期	45,503	1.3	878		612		492	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 315百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 89百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.77	
2019年3月期第2四半期	36.90	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	120,230	48,442	40.3	3,624.65
2019年3月期	123,646	48,461	39.2	3,625.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 48,393百万円 2019年3月期 48,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		25.00	50.00
2020年3月期		25.00			
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	99,600	3.0	2,400		2,350		1,300	80.2	97.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	13,354,688 株	2019年3月期	13,354,688 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,408 株	2019年3月期	3,104 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,351,486 株	2019年3月期2Q	13,352,091 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

紙パルプ業界を取り巻く環境は、電子媒体へのシフトや少子・高齢化による構造的問題のため今後も一層厳しい情勢が続くことが予想されます。

このような状況下、当社グループは、いかなる情勢の変化にも対応し、リスクを吸収できるしなやかな企業グループの基盤を構築するため、中期3ヶ年計画『フォワード304』を策定し、2020年度末に営業利益30億円、ROE 4%の収益基盤の確立に向けて取り組んでおります。安定操業を第一にパルプ事業の強化や新たな紙の価値を創造し、基幹事業である紙パルプ事業の収益基盤強化の取組みを進めています。2017年10月に営業運転を開始したO&Cアイボリーボード株式会社の高板・加工原紙事業の収益基盤強化を図り、当社が得意とする食品容器分野において、脱プラスチックへの時代の流れとともに需要開拓を強力に進め、高効率操業を達成して、早期に収益貢献できる体制の構築に取り組んでおります。また、当社高岡工場内に高機能CNFパイロットプラントの建設を決定（2021年4月稼働予定）しております。さらに2019年10月に、当社高岡工場内に51%以上の紙パウダーと合成樹脂とを混合したプラスチックでも紙でもない素材「マップカ」を製造する工場の建設に着手しております。高付加価値な製品を安定的に生産する体制を整備するとともに、新規事業分野の開拓を積極的に展開してまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、パルプ市況軟化の影響はありましたが、印刷用紙等の価格復元や安定操業の取組みにより前第2四半期連結累計期間と比較し増収・黒字転換となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	47,922 百万円	(前年同四半期比 5.3%増)
連結営業利益	809 百万円	(前年同四半期は 878 百万円の連結営業損失)
連結経常利益	810 百万円	(前年同四半期は 612 百万円の連結経常損失)
親会社株主に帰属する四半期純利益	531 百万円	(前年同四半期は 492 百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売につきましては、販売価格の復元が収益に寄与するも、新聞各社の発行部数の減少と広告減が影響した頁数の減少に歯止めがかからない状況が続いており、金額は前年を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の販売につきましては、販売価格の復元が収益に大きく寄与し、数量・金額ともに前年を上回りました。紙媒体から電子媒体へのシフト等により国内需要の減少は続いていることから、東南アジアを中心とした輸出や紙からパルプへの転換は状況を見据えて柔軟に対応してまいります。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、米麦袋のフレコン化、作付面積の減少の影響を受けて国内販売量は昨年を下回りました。金額面では販売価格の復元が収益に寄与、販売数量の減少を補い前年を上回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、需要が堅調な壁紙等で拡販に取り組んだことやO&Cアイボリーボード株式会社への高板・加工原紙の生産移管が進展した結果、数量・金額ともに前年を上回りました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、当社川内工場の停止が前年と比較し長期間であったことや、海外のパルプ市況の軟化もあり数量・金額とも前年を下回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	42,050 百万円	(前年同四半期比 5.5%増)
連結営業利益	162 百万円	(前年同四半期は 1,608 百万円の連結営業損失)

(発電事業)

発電事業につきましては、安定操業に努め前年並みの売上となりました。しかしながら、当社生産本部二塚製造部において隔年で行っているボイラーの定期検査があったことにより減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	3,480百万円	(前年同四半期比	0.0%増)
連結営業利益	596百万円	(前年同四半期比	16.4%減)

(その他)

当社高岡工場において前年と比較し工場の操業度が向上したため、紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他事業」につきまして増収・黒字転換となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	9,583百万円	(前年同四半期比	3.9%増)
連結営業利益	14百万円	(前年同四半期は35百万円の連結営業損失)	

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

前連結会計年度末日が休日だったこと等により受取手形及び売掛金が2,208百万円減少したことや、現金及び預金が1,665百万円減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、120,230百万円となりました。

(負債)

前連結会計年度末日が休日だったこと等により支払手形及び買掛金が3,227百万円減少したことなどにより、負債合計は前連結会計年度末に比べて4.5%減少し、71,787百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末とほぼ横這いの48,442百万円となりました。これは主として利益剰余金は197百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が208百万円減少したことによります。また、自己資本比率は、前連結会計年度末とくらべて1.1ポイント増加し、40.3%となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,670百万円(前第2四半期連結累計期間比824百万円の減少)となりました。

これは主として、減価償却費3,627百万円、売上債権の減少額2,208百万円、仕入債務の減少額3,227百万円、たな卸資産の増加額987百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,813百万円(前第2四半期連結累計期間比1,459百万円の増加)となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出3,246百万円、長期貸付金の回収による収入337百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は521百万円(前第2四半期連結累計期間比832百万円の減少)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出2,672百万円、配当金の支払額333百万円、長期借入れによる収入1,700百万円、短期借入れによる収入800百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月23日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,918	4,253
受取手形及び売掛金	24,156	21,947
商品及び製品	8,751	9,097
仕掛品	541	509
原材料及び貯蔵品	5,593	6,268
その他	2,714	3,298
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	47,672	45,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,030	50,164
減価償却累計額	△32,527	△33,098
建物及び構築物（純額）	17,502	17,065
機械装置及び運搬具	239,172	239,604
減価償却累計額	△207,477	△208,602
機械装置及び運搬具（純額）	31,694	31,001
その他	11,379	12,602
減価償却累計額	△2,925	△2,944
その他（純額）	8,453	9,657
有形固定資産合計	57,650	57,724
無形固定資産		
その他	217	232
無形固定資産合計	217	232
投資その他の資産		
投資有価証券	7,852	7,615
その他	10,359	9,391
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	18,105	16,900
固定資産合計	75,974	74,858
資産合計	123,646	120,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,277	13,050
短期借入金	25,572	26,383
未払法人税等	272	247
賞与引当金	455	454
その他	4,351	4,296
流動負債合計	46,928	44,431
固定負債		
長期借入金	22,835	21,852
関係会社事業損失引当金	53	51
退職給付に係る負債	5,218	5,307
その他	149	144
固定負債合計	28,256	27,356
負債合計	75,185	71,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	13,063	13,261
自己株式	△6	△6
株主資本合計	48,175	48,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	653	444
為替換算調整勘定	△35	△55
退職給付に係る調整累計額	△380	△367
その他の包括利益累計額合計	237	21
非支配株主持分	48	48
純資産合計	48,461	48,442
負債純資産合計	123,646	120,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	45,503	47,922
売上原価	38,608	39,383
売上総利益	6,894	8,538
販売費及び一般管理費		
販売手数料	2,738	2,501
運搬費	2,684	2,828
保管費	734	743
その他	1,614	1,655
販売費及び一般管理費合計	7,773	7,728
営業利益又は営業損失(△)	△878	809
営業外収益		
受取利息	53	48
受取配当金	88	79
為替差益	143	-
持分法による投資利益	66	40
その他	65	59
営業外収益合計	417	228
営業外費用		
支払利息	114	111
為替差損	-	46
その他	36	69
営業外費用合計	151	227
経常利益又は経常損失(△)	△612	810
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1
固定資産売却益	3	51
特別利益合計	3	53
特別損失		
固定資産除却損	211	221
特別退職金	36	3
その他	-	1
特別損失合計	248	226
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△856	637
法人税、住民税及び事業税	43	129
法人税等調整額	△407	△23
法人税等合計	△363	106
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△492	530
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△492	531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△492	530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	415	△182
退職給付に係る調整額	15	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△27	△44
その他の包括利益合計	403	△215
四半期包括利益	△89	315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89	315
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△856	637
減価償却費	3,986	3,627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△142	△128
支払利息	114	111
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1
固定資産除却損	50	30
投資有価証券評価損益(△は益)	-	0
固定資産売却損益(△は益)	△3	△51
売上債権の増減額(△は増加)	1,956	2,208
たな卸資産の増減額(△は増加)	△341	△987
その他の資産の増減額(△は増加)	285	△50
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,555	△3,227
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	69	107
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△0
その他の負債の増減額(△は減少)	△232	△195
未払又は未収消費税等の増減額	125	△271
持分法による投資損益(△は益)	△66	△40
その他	△5	1
小計	2,385	1,770
利息及び配当金の受取額	249	128
利息の支払額	△115	△113
法人税等の支払額	△25	△115
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,495	1,670
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,979	△3,246
有形固定資産の売却による収入	3	51
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	-	11
短期貸付金の純増減額(△は増加)	326	101
長期貸付けによる支出	-	△1
長期貸付金の回収による収入	319	337
資産除去債務の履行による支出	-	△2
その他	△22	△63
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,354	△2,813

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△0	800
長期借入れによる収入	4,100	1,700
長期借入金の返済による支出	△5,145	△2,672
非支配株主からの払込みによる収入	49	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△335	△333
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,353	△521
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△211	△1,665
現金及び現金同等物の期首残高	4,757	5,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,545	4,253

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,329	3,479	41,808	3,694	45,503
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,543	—	1,543	5,530	7,073
計	39,872	3,479	43,352	9,224	52,576
セグメント利益 又は損失(△)	△1,608	713	△894	△35	△930

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	△894
「その他」の区分の利益	△35
セグメント間取引消去	40
固定資産の調整額	9
その他の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△878

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,456	3,480	43,936	3,985	47,922
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,594	—	1,594	5,597	7,192
計	42,050	3,480	45,531	9,583	55,114
セグメント利益	162	596	758	14	773

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	758
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	40
棚卸資産の調整額	△10
その他の調整額	6
四半期連結損益計算書の営業利益	809

(重要な後発事象)

該当事項はありません。